話題ピックアップ

まちのニュース

皆さんからの情報をお寄せください。
企画財政課広報広聴係（☎・内線1203）

温泉郷に新風を吹き込む

複合型商業施設「Ma y ' s」の建設が着工

㈱クレセント（大坊千文代表取締役）は10月14日、八幡平温泉郷にレストランなどが入る複合型商業施設「May's（メイズ）（仮称）」の地鎮祭を行い、参加した関係者ら約30人が工事の安全を祈念しました。

森乃湯近くの小高い丘に建てられるメイズは、延べ床面積約400平方㍍の木造平屋で、総事業費は約３億円。令和２年度経産省の商店街活性化観光消費創出事業を活用します。来春完成予定で、メインのレストランのほかキッチンスタジオ、ショップなどを設け、宿泊機能は有しません。

食の多様化を提供することで、温泉郷に新しいにぎわいを生み出そうと、地元ホテル関係者と八幡平DMOでつくる八幡平観光地域づくり協議会と共同で企画。ホテル以外での食事を望んでいる長期滞在の訪日外国人旅行者に対応し、レストランを手始めに泊食分離を進め、エリア内での人の流れを活性化する計画です。

大坊取締役は「経営者の高齢化が進み、素泊まりなら対応できるペンションもある。既存の宿泊施設と共栄共存し、相乗効果を生み出したい。また、メイズをきっかけに温泉郷を回遊する人が増えれば、飲食店やレジャー施設などが生まれる。温泉郷全体でにぎわいを創出していきたい」と意気込みました。

テラス側から岩手山の眺望が楽しめます（外観イメージ）

先輩から受け継がれてきた曲「花になれ」を全校で合唱

ピースつなげ一丸で表現

西鈴祭で一中のまとまりを存分に発揮

西根一中（熊谷治久（はるひさ）校長、生徒86人）は10月31日、文化祭に当たる西鈴祭を開き、一体感のある演劇や合唱などを披露し、観衆を引き付けました。

同祭に併せて予定していた創立60周年記念式典は中止。消毒の徹底や来場者に制限をかけるなど、新型コロナの感染拡大に配慮し、開催しました。生徒会長の吉田星（あかり）さんは「例年通りにはいかなかったが、そんな中でもみんなで一生懸命取り組み、思い出に残る西鈴祭をつくれてよかった」と笑みを浮かべました。

荒屋地区振興協議会が地域づくり一括交付金を利用し、桜松公園の案内看板を改修しました（10月）

東京オリンピック聖火リレートーチの巡回展示が行われた市芸術祭（10月31日、西根地区市民センター）

市シルバー人材センターの会員が奉仕活動として北森駅やフーガの広場を清掃（10月28日、北森駅）

心の中の思いを筆で表現

平和ポスターコンテスト入賞者を表彰

県内選考へ進む（左から）嶺岸さん、伊藤さん、菊池さん

西根ライオンズクラブは11月４日、第33回国際平和ポスターコンテストの表彰式を市商工会館で行い、入賞者10人に賞状を手渡しました。

今年度のテーマは「奉仕で平和を実現しよう」。西根・松尾地区の市内小中学校から55作品が応募され、嶺岸あおさん（田頭小）、伊藤結凜さん（平笠小）、菊池葵さん（寄木小）の作品が最優秀賞に選ばれました。

このコンテストは、子どもたちが持つ平和のビジョンを表現する場として毎年実施されています。

二人の新たな門出を応援

成婚を祝う出会い成婚祝い金

祝い金は暖房器具の新調に充てる予定です

出会い成婚祝金贈呈式は11月６日、市役所で行われ、三浦勤さん、千春さん夫妻に20万円分の市共通商品券と㈱わしの尾から日本酒「結の香」が贈られました。

この制度は、市の出会い支援イベントをきっかけに２年以内に入籍した市内居住の夫婦に対し、結婚時とその１年後の２回に分けて総額50万円分の商品券を贈り、新生活を応援するものです。

勤さんは二人の今後について「色々なことに挑戦する明るい家庭にしたい」と笑みを浮かべました。

無数に広がる未来の道

西根一中生が職場体験で将来の選択肢を探る

小さい葉は取らないように注意しながら収穫

西根一中の職場体験学習は11月17日、市内８カ所で行われ、２年生34人が仕事を通じて自分の将来の職業選択に対する意識を高めました。

㈱八幡平スマートファームでは、生徒４人が熱水ハウスでバジルの収穫と定植を体験。慣れない作業に苦労しながらも、真剣な眼差しで取り組みました。

齋藤暖天君は「葉を傷つけないように収穫するのが難しかった。慣れるとたくさん収穫できるようになって楽しかった」と笑顔で汗を拭いました。

共に歩みダイヤモンド

結婚60周年を迎えた夫婦をお祝い

西根地区出席者の代表として褒状を受け取る工藤夫妻

市ダイヤモンド婚を祝う会（市社会福祉協議会主催）は11月12日、いこいの村岩手で開かれ、対象70組のうち出席した18組に褒状が贈呈されました。

工藤喜一さん（88）、百合さん（84）夫妻＝五百森＝は「仕事や子育てなど大変な時期もあったけれど、この日を迎えられて全部忘れるほどうれしい」と晴れやかな表情を浮かべました。祝宴では市ふるさと大使の漆原栄美子さんらが歌と踊りで祝福。出席者は結婚生活の節目を喜び合いました。

山と登山者のガード役

公園を見守り続けて環境省自然環境局長表彰

受賞報告のため市役所を訪れた畠山さん（右）

令和２年度自然公園指導員表彰の伝達式は11月４日、県庁で行われ、畠山庄五郎さん＝北寄木＝に表彰状が手渡されました。

平成22年から10年間にわたり、十和田八幡平国立公園の指導員として施設の清掃活動や登山者への指導を行うなど、公園の保全と適切な利用推進に努めた功績が認められ受賞となりました。畠山さんは「山が好きだから楽しんで活動している。これからも歩けるうちは頑張りたい」と意欲を示しました。

イベント待ちわび人出

新型コロナに負けず松尾地区ふれあいまつり

ドライフラワーを特殊なオイルに漬けるハーバリウム

第９回松尾地区ふれあいまつり（実行委員会主催）は11月７、８の両日、松尾コミュニティセンターで開かれ、多くの来訪者でにぎわいました。

感染症拡大防止のため舞台部門は中止。児童から一般までの作品が所狭しと展示されたほか、日替わりイベントや産直販売などが行われました。

ハーバリウム体験に参加した佐々木良子さん＝時森＝は「物を作るのが好きで参加した。ほかにもイベントがあれば参加したい」と笑みを広げました。

すなっぷギャラリー

４人でたすきをつなぎ優勝を目指す市スポーツ少年団駅伝まつり（11月１日、松尾総合運動公園）

自分たちが育てた野菜と米でカレーライスを作って収穫をお祝い（11月６日、寺田小収穫祭）

試飲会で初めて披露されたオーガニックビール「ドラゴンアイ・スカイ」（10月26日、暁ブルワリー）

市農業委員会が法人化の推進や就農支援など８項目にわたる意見書を市に提出（11月２日、市役所）

上記の職場体験記事を作った中村桜雅君。「取材が楽しかったです」と声を弾ませました（11月17日、市役所）